

The diagram shows a stack of three layers. The top layer consists of nine blue cubes, each labeled 'Dapp'. The middle layer is a teal-colored diamond shape with the word 'Blockchain' written in white. The bottom layer is a dark blue diamond shape with the words 'DAOP Blockchain' written in white. The cubes are arranged in a 3x3 grid on top of the 'Blockchain' layer, which is centered on the 'DAOP Blockchain' layer.

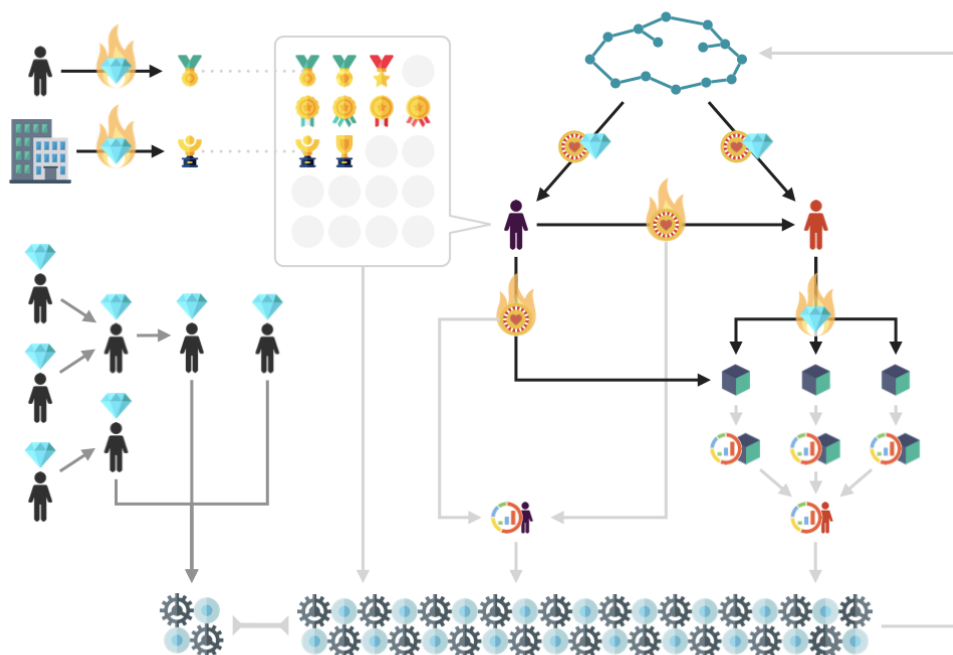
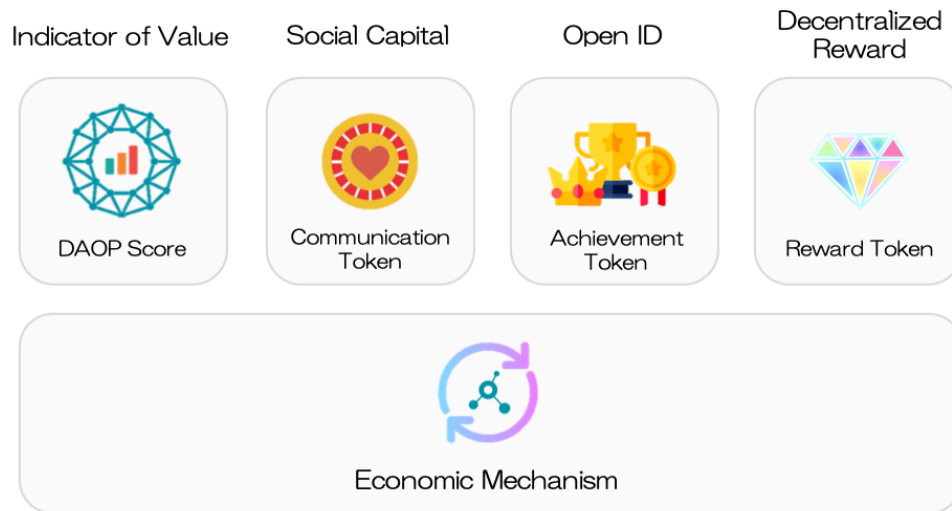
なぜDAOの Protokol ?

現在、Blockchain 上には、ICO バブルの波に乗って生まれた非常に限られたユーティリティしか存在しないような独自トークンが溢れ、それらの淘汰が進行している。それらを扱う Dapps についても、実質閉鎖的な状態となってしまうものがほとんどであり、分散型のアセットをベースとした Blockchain の世界を十分に活かすことができていない。また、このような状況では、ユーザーに対してもリスクや不便を強いらざるを得ない。

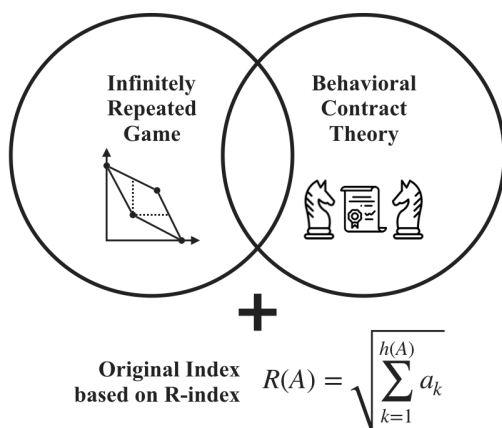
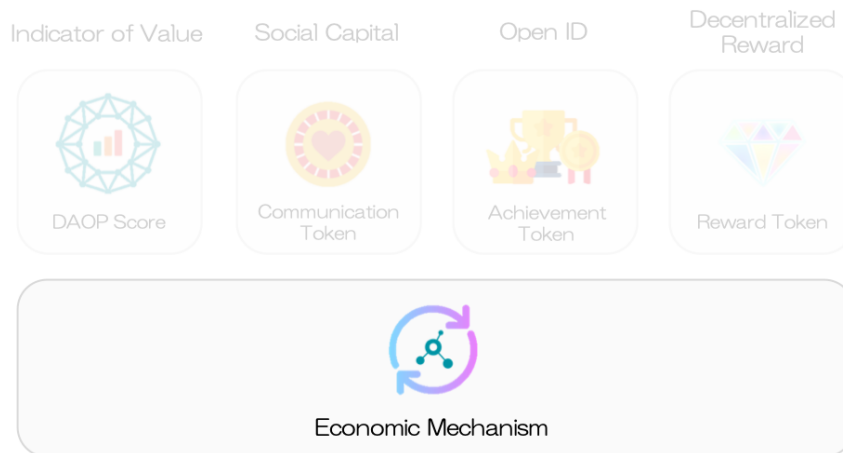
我々は、これらの問題を解決するため、Blockchain レイヤーとアプリケーションレイヤーの間に、抽象的な資源やガバナンスに関するメカニズムを備えたミドルウェアプロトコルである「DAOP」を構築する。共通の思想を有する Dapps は、この共通基盤を介して接続・連携し、ユーザーを共有することで、強いシナジーを生みながら 1 つの DAO として発展することが可能となる。また、ユーザーは、1 度 DAOP に参加しさえすれば、DAOP と連携する複数の Dapps を容易に利用することが可能となる。さらには、DAOP 上での横断的な行動履歴に応じて付与されるアチーブメントを蓄積していくことで、分散型の世界における新しいアイデンティティを構築することも可能である。

DAOP Core

DAOP のコアは以下の 5要素から構成されている
各 Dapps はこれらを組み込み、接続・連携することで 1 つの DAO として発展する



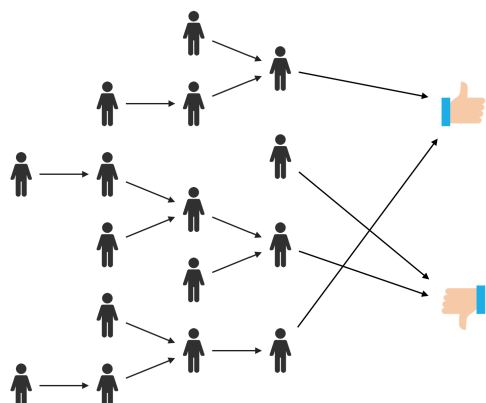
1.Economic Mechanism



経済学的な知見に支えられた 資源配分と行動指標

DAOP には、その上で構築される DAO の潤滑剤となる 3 種類のコアトークンが存在する。プロトコルの主たる目的の 1 つである「DAO のサステナビリティ向上」のため、根幹を成すこれらトークンの発行・分配に関するルールは、繰り返しゲーム理論に基づいて設計されている。

また、継続性と将来性に重きを置いた独自の指標をプロトコルの根幹に据えることで、指標に対して合理的なユーザーが長期的な効用に基づいて行動すること(割引因子の引き上げ)を促し、繰り返しゲーム理論に基づいたルールがうまく機能するようサポートする。このように、Blockchain(暗号学)に裏づけられた合理性に従って、システム全体にとって望ましい行動をユーザーに促すようなプロトコルデザインは、cryptoeconomics の考え方に基づくものである。また、ユーザーが長期的な効用に対して合理的になることで、バズ・SEO 特化の有象無象な情報に埋もれてしまっている本質的に重要な情報が自然と浮かび上がり、長期的視野を持って向き合う必要があるクリティカルな課題(ex. SDGs)を解決するための土台となる文化が育まれる。



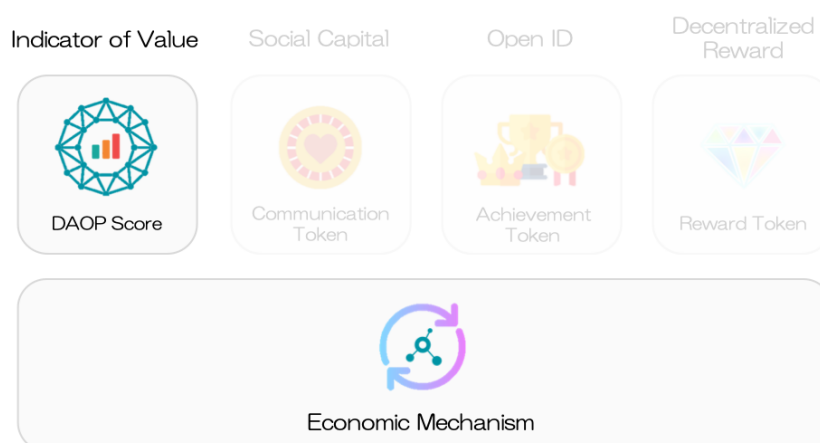
既得権益の固定化を防ぐ ガバナンスメカニズム

DAOP 上で構築される DAO だけでなく、DAOP 自体に関しても、サステナブルであるためには適切な変化が必要となる。しかし、既得権益を有する者がその変化を妨げるのが世の常である。

DAOP は、上記の問題を緩和するため、将来性に重きを置いたスコアリングルールと、それを基準とした資源分配システムを導入している。また、液体民主主義に着想を得たガバナンスモデルによるプロト

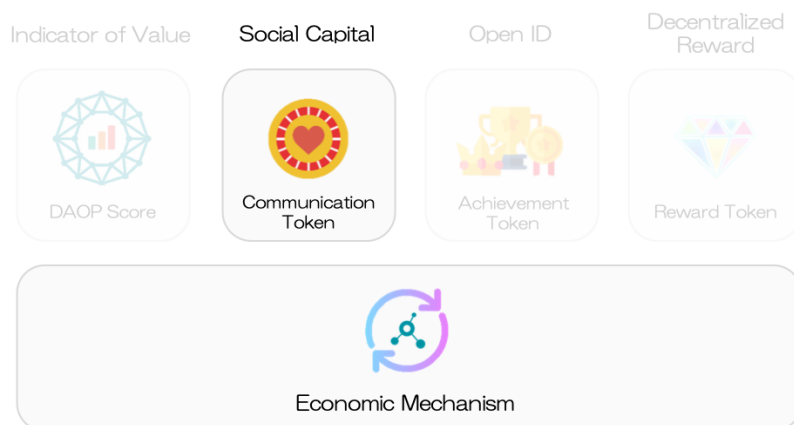
コル調整システムも導入されており、弱い権利しか持たないユーザーであっても、委任をうまく活用してコンセンサスを形成することで、強大な既得権益に対抗することが可能となっている。しかし、このような「大きなガバナンス」も、ユーザーが理解して動かなければ機能しない。DAOP ではこのような課題を踏まえ、「大きなガバナンス」の前段として、ユーザーが自然と「小さなガバナンス」に参加できるようになっている。具体的には、ユーザーの日常的な活動を統計して、アチーブメントのランキングを決定する仕組みが導入されており、上位ランクのアチーブメントを獲得しているユーザーは DAOP 上での活動効率が向上するようになっている。このように、自身の行動がプロトコルに影響を与えるという体験をより身近なものにすることで、「大きなガバナンス」を機能させるための認知拡大・向上が促される。

2.DAOP Score

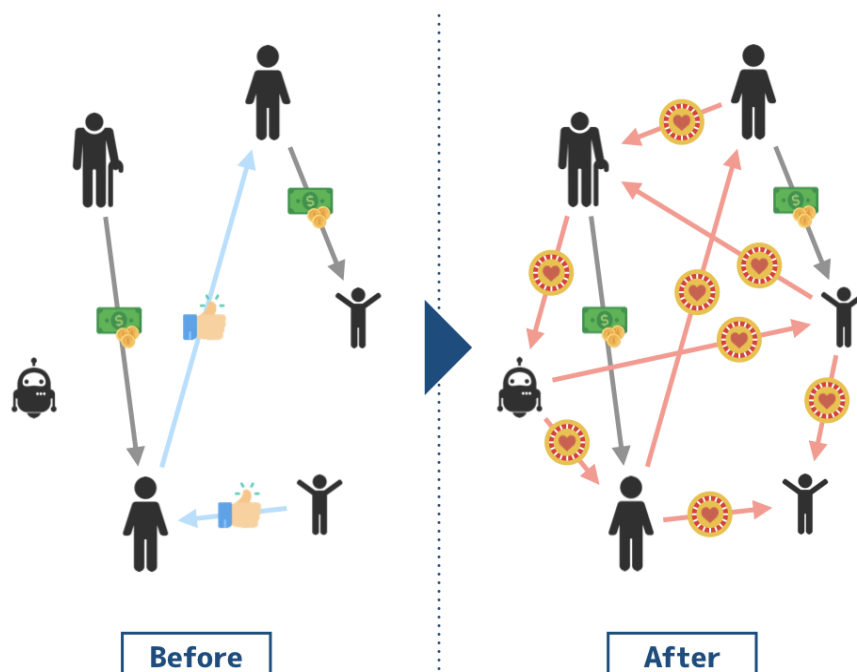


継続性と将来性に重きを置いた、R-index ベースの独自指標。Communication Token の焼却状況を元に各ユーザーに対して算出される。この指標によって、DAOP が構築する DAO に既存の社会とは異なる合理性が生まれる。また、このスコアを基準として、Communication Token と Reward Token の発行・分配が行われる。どの行為に価値があるのかを示すアルゴリズムである。

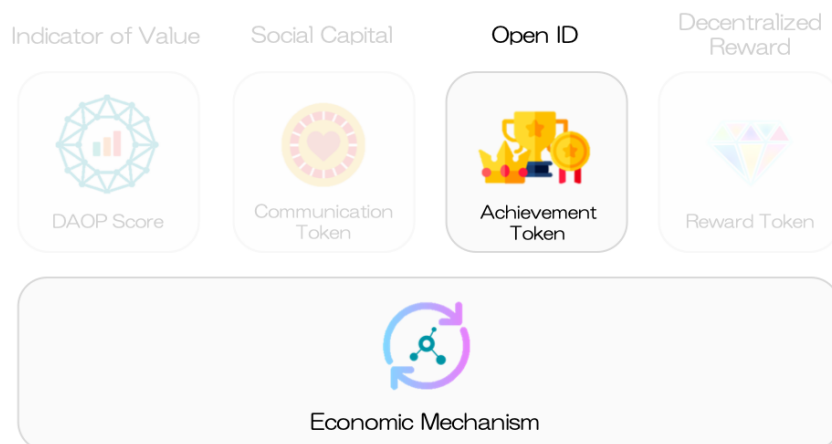
3.Communication Token



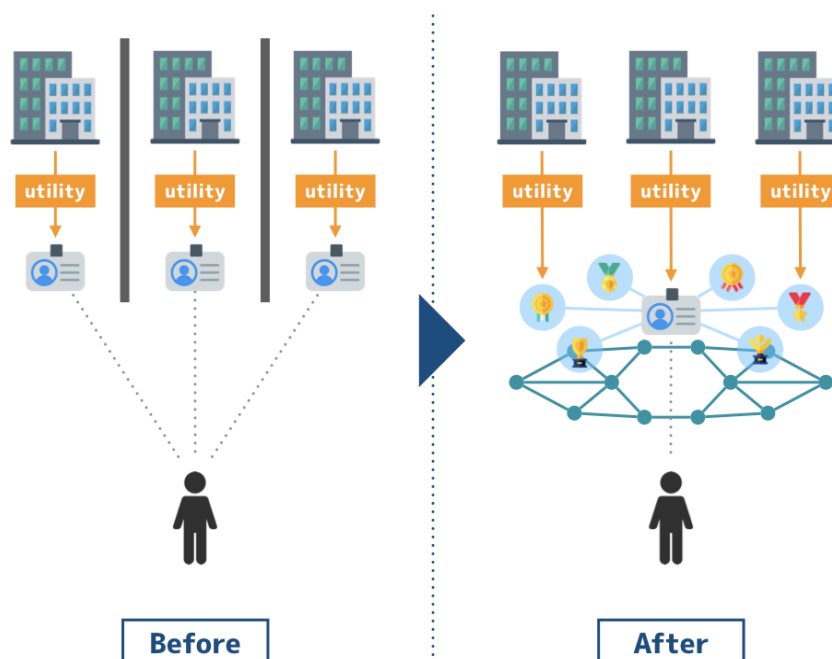
DAOP Score に応じて発行・分配される譲渡不可能なトークン。DAOP 上の行動は基本的にこのトークンの焼却を伴い、その焼却量によって重みづけされる。これまでインターネット上でうまく流動していなかった感情や社会関係資本をトークン化して流動を促すことで新しいコミュニケーションを生み、新しい関係性すなわち DAO 形成の下地となる。社会関係資本を軸とした DAO 形成は人々が潜在的に求めている「精神的な豊かさ」を最大化する。



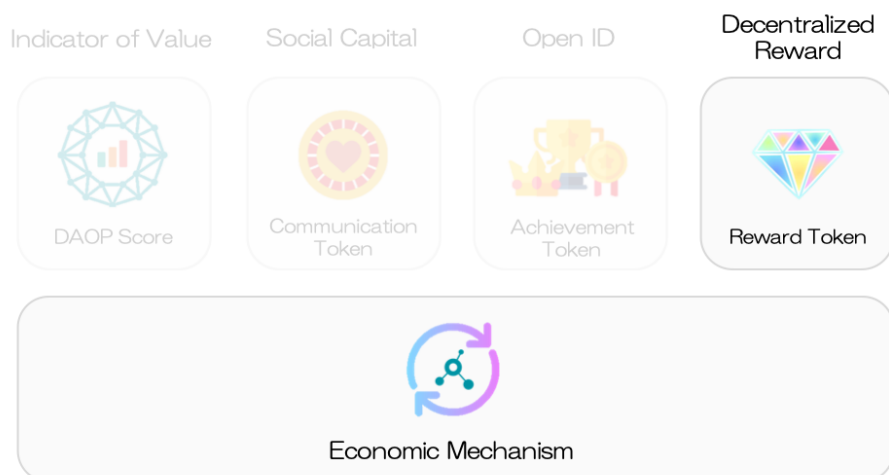
4.Achievement Token



一定の条件を満たすことで獲得できる譲渡不可能なトークン。Reward Token を一定量焼却すれば誰でも発行することが可能であり、トークンの獲得条件は Blockchain 上のデータを自由に組み合わせて定義できる。Blockchain 上における多様な行動の証をトークン化することで、個人に帰属する新しいオープンアイデンティティを実現するだけでなく、その行動に価値を認めたサードパーティが容易にユーティリティを提供できる横断的な世界の土台を構築する。また、民主的に本トークンのランキング生成が行われ、上位ランクのトークン保有者は DAOP 上での活動効率が向上する。これはプロトコルの調整をしているともいえるので「小さなガバナンス」である。



5.Reward Token



DAOP Score に応じて発行・分配される譲渡可能なトークン。DAOP 上の資源である Communication Token の焼却状況によって DAOP Score が変動し、それに応じて報酬としてこのトークンが発行・分配される仕組みは、分散型ネットワークから報酬を得るという新しい報酬形態ともいえる。また、このトークンは Bancor Protocol に対応しており、カウンターパーティなしで別のトークンに変換することが可能なので、今まで価値が無いとされていた行為の価値化といえる。また、このトークンの保有者に対して、プロトコル調整のためのガバナンスへの参加権が与えられる。

